

子ども・子育て支援事業計画の主な事業

1 幼児期の学校教育・保育の充実

認定こども園

保育所と幼稚園の機能や特長(保育・教育)をあわせ持ち、地域の子育て支援もを行います。

■利用希望者の見込み
20人/年

■サービス提供体制

現在の保育所から認定こども園への移行を推進し、平成29年度から実施できるように取り組んでいます。

地域型保育事業

保育所や認定こども園より少人数の単位で、0~2歳の子どもを預かる事業です。

■利用希望者の見込み
今後、定住促進の取り組みにより、希望者の増加が見込まれます。

■サービス提供体制

状況に応じて、地域担い手の方とサービスの構築に向けて取り組んでいきます。

2 地域子ども・子育て支援事業の充実

地域子育て支援拠点事業

地域の子育て支援を目的に、子育て家庭の相談・指導の他、絵本の読み聞かせなどのイベントを行う事業です。

■利用希望者の見込み
250人/月

■サービス提供体制

●上毛町子育て支援センターで実施します。
●専門性を有する職員の配置など相談支援機能の強化を図ります。

放課後児童クラブ

保護者が就労などのため、昼間、家にいない場合、小学1年生から3年生までの子どもに対して、遊び場や生活の場を提供します。

■利用希望者の見込み
80人/年

■サービス提供体制

●小学4年生以上の受入れについては、学校などと連携し、平成27年度中に児童の居場所づくりについて総合的に検討します。

ファミリー・サポート・センター

会員制の支援事業です。育児の援助を受けたい方(依頼会員)と、育児の援助を行いたい方(協力会員)との連絡調整を行います。

■利用希望者の見込み
10人/年

■サービス提供体制

●ニーズ調査において利用希望があるため、事務局の設置を検討していきます。
●広報活動を行い、依頼会員・提供会員の掘り起こしを進めていきます。

計画を円滑に進めるための 子育て応援プロジェクト

様々な子育てニーズや課題がある中で、まず最重点の課題として早急な対応が求められる事業について、具体的な支援ができる人材の発掘と育成に焦点をあてています。また、町独自の子育て施策の展開を図っているにもかかわらず、十分周知できていないという指摘もあり、広報活動にも力を入れていきます。子育て環境を充実させるため、子育てに関する地域人材の育成と、事業のPRを中心に、次のプロジェクトを行います。

1 子育て応援講演会

- ① 目的 子ども・子育て支援に係る制度の啓発・今後の子育て事業を支える人材の掘り起こし
- ② 対象 子育て事業関係者・子育て支援に興味のある方・ボランティア希望者
- ③ 内容 著名な講師による子育て講演会

2 子育て力向上講習会

- ① 目的 今後の町の子育て事業を背負っていく人材の育成
- ② 対象 子育て応援講演会に参加した方・子育て支援に興味のある方・ボランティアの方
- ③ 内容 子育て支援に関する講習会

3 子育て力向上研修会

- ① 目的 研修による事業水準の向上
- ② 対象 子育て事業関係者
- ③ 内容 先進地、ファミリー・サポート・センター事業視察など

4 子育てハンドブックなどの作成

- ① 目的 子育て関係制度のPR
- ② 対象 「子育て応援九州一」の具現化
- ③ 内容 町内全家庭・近隣市町
子育てハンドブックや
子ども支援プランの作成

この事業を推進することによって、すべての家庭が安心して子育てできるよう、地域社会全体でしっかりと支援し、「子育て応援九州一」のまちを目指します。



●問い合わせ先 子ども未来課 子育て支援係 TEL 72-3111(内線225)

特集

まちづくりの現場から

このコーナーは、上毛町第1次総合計画に掲げられた目標を実現するために、町が取り組んでいる事業のフロセスや課題などを毎月シリーズで紹介するものです。今月は、「子育て応援九州一」のまちづくりに向けた取り組みの現場からお届けします。

子育て応援九州一のまちづくり

集落から子どもの声が消えるといった声を耳にするようになりました。日本は本格的な人口減少社会に突入したと言われており、少子化は特に深刻な問題となっています。

町の人口に占める子ども(0~14歳)の割合は、昭和50年の国勢調査では約20.3%でしたが、平成22年には13.4%まで下がっています。この間、人口は約1000人減少し、そのうち、子どもは約800人も減っています。国は、地方の創生に向けて「安心して子育てできる地域社会の実現」を掲げ、平成27年4月から、幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の拡充や質の向上を進めるための子ども・子育て支援新制度をスタートさせるなど、具体的に動き始めています。

町では、平成26年4月に役場の体制を見直し、これまで各課に分かれていた子育て支援に関する窓口を一本化し、住民サービスの向上を図ることを目的として、「子ども未来課」を新設しました。

また、多様化する子育てニーズや課題に対応していくためには、地域全体で子育てを考える必要があることから、保護者の方をはじめ、保育所や学校などの関係機関で構成する「上毛町子ども・子育て会議」を設置し、平成27年3月に、上毛町子ども・子育て支援事業計画を策定しました。

子ども・子育て支援事業計画を策定しました

この計画は、すべての子ども自身の育ちと子育て中の保護者を支援するとともに、町民が子育てについて理解と認識を深め、家庭、保育所・認定こども園、学校、企業、行政機関などが相互に協力し、地域社会が一体となって子ども子育てを推進するもので、計画期間は平成27年度から平成31年度までの5年間です。

計画の策定にあたっては、平成26年2月に子ども子育て会議を設置し、計6回の協議・検討を行いました。また、小学校に就学中、就学前の保護者に対して行った子育てに関するニーズ調査を基に、各種子育て事業の必要量を推計したものを、数値目標としています。

基本理念

安心して子育て・子育ての喜びや楽しさを実感できるまち

子どもの健やかな育ちと子育てを支えることは、一人ひとりの子どもや保護者の幸せにつながることはもとより、社会の発展に欠かすことができません。

また、人が家庭を、家庭が地域を、地域がまちを築いていくことから、社会全体が積極的に子育てに関わりを持ち、時代を担う子ども達の健全育成を図ることが、まちの成長につながります。

本計画では、これまでその取り組みを進めてきた「上毛町次世代育成支援後期行動計画」の基本理念を継承し、「未就学児から高校生までの福祉・教育施策の充実」を施策の柱に据え、推進します。